

幼保小連携を通して子どもの心を育む ～読み聞かせ（読書活動）を通して～

南吉田地区
やすらぎ保育園
京急キッズランド黄金町保育園
みなみマーノ保育園
中村愛児園
南吉田小学校



テーマ設定理由

- 外国人集住地区である南吉田地区には、保育園、幼稚園、小学校、中学校問わず多くの外国につながる園児、児童、生徒が在籍している。
- 家庭内言語は母語という子どもたちも多く、園や学校での読み聞かせは、語彙を獲得し、日本語理解を促進する意味でも価値のある活動である。

推進内容

4月～5月	入学後保育士の学校訪問 手遊びや読み聞かせ等を行い卒園児と交流
	推進委員会(担当者間の連絡会)
	通常の読み聞かせや読書活動を記録
6月以降	園児が学校図書館を訪問
7月	職員交流会(講師を招いての研修)
9月以降	小学校児童が園を訪問し読み聞かせを実施
10月以降	園児が学校訪問し、通常の交流活動
1月以降	園児が学校訪問し、小学校体験
2月	推進委員会で振り返りと次年度計画作成

今年度の重点課題

絵本の読み聞かせをテーマに

職員合同研修会を実施

園児児童の相互訪問を実現



職員合同研修会 「しかけ絵本ワークショップ」

7月26日

講師 メツゲンドルフアー代表
嵐田康平氏

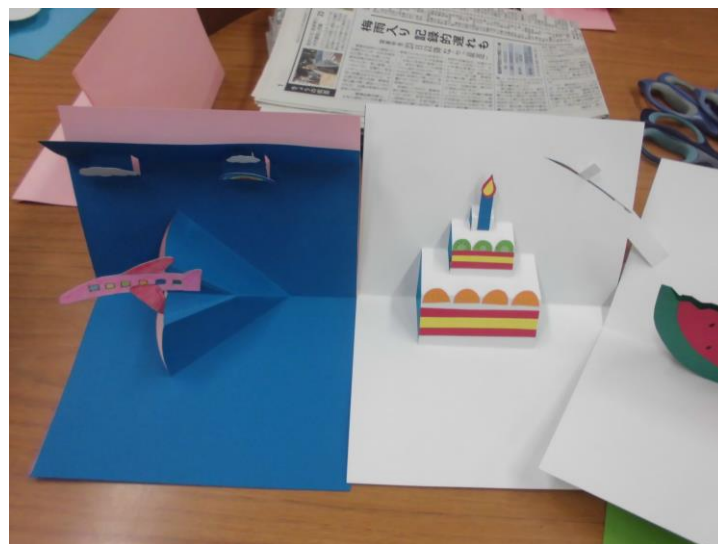
参加 40人

推進地区学校・保育園
中学校ブロック図書館司書



職員合同研修会 「しかけ絵本ワークショップ」

講師によるしかけ絵本ワークショップを行い各自でしかけ絵本をつくりながら交流した。小学校・連携園職員に加え中学校ブロックの図書館司書も参加し楽しい時間を過ごした。色とりどりのしかけ絵本をお土産に持ち帰り子どもたちに披露した。



図書館司書による絵本の読み聞かせ



興味津々でパネルシアター
を見る園の子どもたち



大型絵本に触れる
園の子どもたち

図書委員会児童が園で読み聞かせ



連携園におじゃまして読み聞かせをする図書委員の児童。緊張気味です。



読み聞かせ後に「おもしろかった」と言われ大満足な図書委員児童です。



1年生が教室で読み聞かせ



園児さんが1年生の教室にやってきました。1年生は読み聞かせをしておもてなしをします。

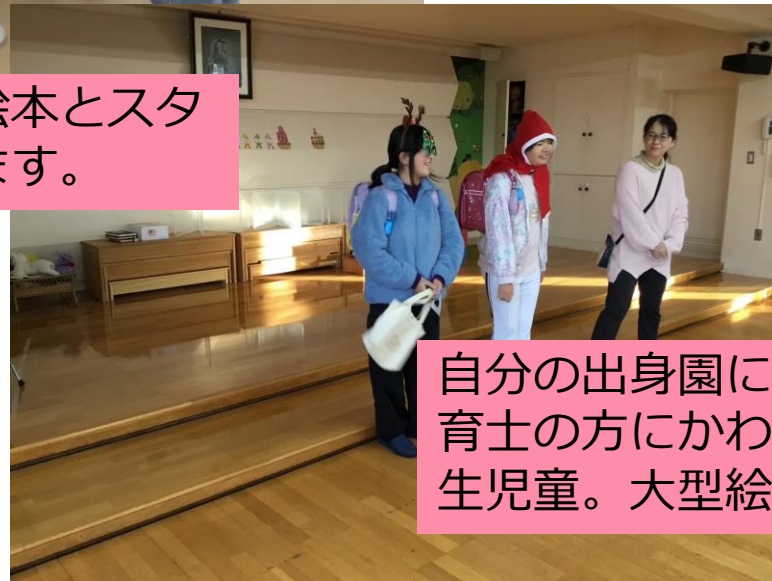
読み聞かせをしながら去年のことを思い出し自分自身の成長を感じ取ります。



図書委員会児童が大型絵本をプレゼント



読み聞かせ後に大型絵本とスタンドをプレゼントします。



自分の出身園におじゃまして保育士の方にかわいがられる5年生児童。大型絵本をプレゼント。



1年目の成果と課題

【成果】

- ・年間を通じて、小学校の図書館を利用することで、園児たちは小学校に対する不安や壁がなくなり、訪問自体を楽しみにするようになった。
- ・小学校の休み時間にも園児が図書館にいて、自然と小学生との交流が生まれ、子どもたち同士のかかわりややり取りが見られた。
- ・司書によるパネルシアターや読み聞かせで、園児たちは図書館が気に入り、リピートしたいと思うようになった。
- ・園でも読み聞かせは日常的に行っているが、司書や図書委員の高学年児童、また1年生に読み聞かせをしてもらうことで学校や本への親しみが増したと考えられる。
- ・しかけ絵本を園でも学校でも活用できた。
- ・大型絵本をプレゼントしたので、次年度以降は園と学校で同じ本を揃えて、入学時に「この本知ってる!」というバリエーションを増やしていきたい。
- ・大型絵本のプレゼントを通じて、園児たちは絵本やお話に一層の興味を持つようになった。

1年目の成果と課題

【課題】

- ・初年度は手探りで事業を進めたために計画から実施までに時間がかかった
- ・2年目は入学当初の保育士による学校訪問を計画的に行い緊張感を解く工夫もしていきたい。
- ・初年度の取り組みとして、小学校と保育園の間での行き来がスムーズに行えるようになったため、次年度も無理なくお互いの交流が継続できるよう、さらに工夫していきたいと考えている。

絵本の読み聞かせの効果に関する調査研究

大学との共同研究

3年間かけて幼保小で絵本の読み聞かせを充実させる方法やその効果について調査研究を行う予定